



佐藤与右工門氏に贈られた銀杯

門氏に贈られた2枚の感謝状も残されていたことが分かりました。感謝状には開校以前からの功績が表彰されています。文面には記念品を贈呈すると記されており、この銀杯のことと考えられます。開校50年記念品として佐藤氏に贈られた銀杯は、当時の厚田のにぎわいをもうかがわせる資料といえるでしょう。現在、いしかり砂丘の風資料館テーマ展「資料館のお宝2014」に展示しています。

(荒山千恵)

「銀杯」〜厚田尋常高等小学校記念品

緑色の布ケースに納められた「銀杯」——これは、寄贈者・佐藤薫さんの祖父・佐藤与右工門氏に贈られた記念品です。大きさは、高さ6.6cm、口径3.6cm。銀杯の底面を見ると、「厚田尋常高等小学校開校五十年記念」とあり、昭和5（1930）年10月に行われた開校50年記念の品であることが分かります。銀杯の正面には「厚」の字が施されており、当時の校章と思われます。また、背面には「贈佐藤与右工門殿」と名前が

刻まれており、この記念品が個人を表彰する特別な品であったことが分かります。

この品を納める専用ケースふたの内側を見ると、金文字で「金銀美術品 竹谷本屋 秋田市川端二丁目」とあります。竹谷本店は、伝統工芸である秋田銀線細工の老舗として知られており、ここに銀杯を特注したものと考えられます。

さらに、開校50年記念に際して、故・佐藤弁蔵氏と佐藤与右工



佐藤氏に贈られた感謝状の1枚

テーマ展「資料館のお宝2014」

寄贈していただいたお宝を公開中!

日時 3/30(日)まで9:30~17:00 ※火曜休館

費用 入館料300円(中学生以下無料、団体料金15人以上240円)

場所・問合せ いしかり砂丘の風資料館(弁天町30-4)



銀杯の背面



銀杯の底面



荒山千恵 Chie Arayama

専門分野は考古学。北海道での遺跡発掘調査をはじめ、出土した木の道具、音の考古学などの研究を行う。